

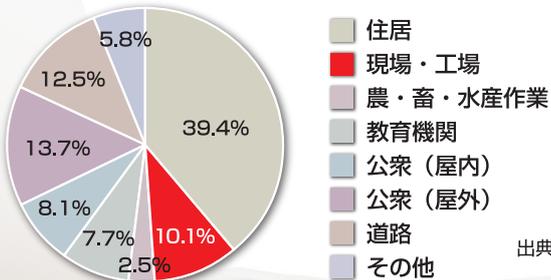


熱中症対策は万全ですか? 屋外・直射日光でも使える



意外と多い、工事現場での熱中症発生！

◆発生場所別の熱中症による救急搬送人員



出典：総務省消防庁
(平成 29 年 7 月)

特徴 1 JIS B 7922 準拠

特徴 2 熱中症予防指針をアラーム音と数値でお知らせ

特徴 3 黒球式だから、日射や輻射熱も測定

▶ 屋内はもちろん屋外・直射日光の下で使用可能 ▶ 炎天下でも WBGT 値を表示
※屋内・屋外の自動切り替え機能 [特許 第6047801号]

特徴 4 暗い場所でも見やすいバックライト付き

特徴 5 ①カラビナ、②吊り下げ用アタッチメント、③ヘルメット取付用電池蓋、④三脚取付用電池蓋、⑤ネックストラップ、⑥ドライバー 付きでいろいろなスタイルで携帯可能



ヘルメットに取付け



作業服の胸ポケットに取付け



備品に取付け



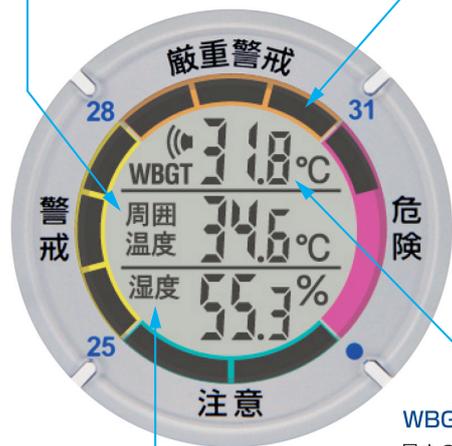
三脚に取付け



付属品

今まで感覚に頼っていた判断をアラーム音や数値でチェックできます。

周囲温度(外気温または室温)を表示



湿度を表示

WBGT値を表示

暑さの厳しさの程度を示す指数で、熱中症予防の指数として用いられます。気温だけでなく、汗のかき方に関する湿度、日射・照り返しなどの輻射熱を取り入れて計算されます。

黒いバーで危険レベルをお知らせします。危険度にあわせて、異なる警告アラームとなります。

ビィビィと約1秒間	ビィビィビィビィ×3回約3秒間	ビィビィ……ビィ約15秒間	ピーーと3秒連続後1秒休止の繰り返しで約15秒間
[注意]	[警戒]	[厳重警戒]	[危険]

■熱中症予防指針

WBGT温度	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者において安静状態でも発症する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28℃~31℃)	すべての生活活動でおこる危険性	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25℃~28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発症する危険性がある。

出典：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 ver.4」(2022)より

普通の温湿度計は・・・

日射や地面からの照り返しによる熱(輻射熱)を測定できません。そのため直射日光が当たる場所では正しく計測できず屋内、または屋外の日陰専用でした。

黒球式なら!

熱中症にかかわる要因の日射や輻射熱を測定できます。そのため直射日光が当たる場所でも、WBGTをより正確にお知らせすることが可能です。



黒球式熱中症指数計

熱中アラーム

暗い場所でも見やすいバックライト付き

■商品仕様

熱中症予防指針		4段階 11レベル (「注意」「警戒」「厳重警戒」「危険」)	
WBGT	測定範囲	0.0~50.0℃ 0.1℃単位 (測定範囲外は0.0および50.0が点滅)	
	精度	15.0~40.0℃±2.0℃	
周囲温度(気温)	測定範囲	0.0~50.0℃ 0.1℃単位 (測定範囲外は0.0および50.0が点滅)	
	精度	0.0~50.0℃±0.6℃	
湿度(相対湿度)	測定範囲	20.0~90.0% 0.1%単位 (測定範囲外は20.0および90.0が点滅)	
	精度	20.0~90.0%±5.0%	
WBGT・周囲温度・湿度測定間隔		約30秒に1回	
使用範囲	周囲温度	0℃~50℃	
	湿度	20%~90%	
	風速	0.3~3m/s	
警告アラーム	アラーム時間	最長約15秒 (各注意レベルで音質および時間が異なります)	
	音量	3段階: 75dB (大), 65dB (小), 無	
バックライト		○ (点灯時間約5秒)	
電源		3VDC (CR2032 コイン形リチウム電池)	
電池寿命		約3ヶ月 (1日4時間使用時)	
本体寸法・質量		D36×W58×H108mm 約65g (電池、吊り下げ用アタッチメント、カラビナ含む)	
主な材質		黒球、本体: 耐熱ABS レンズ: PMMA センサーカバー: PP	
付属品		吊り下げ用アタッチメント、カラビナ、三脚取付用電池蓋、ヘルメット取付用電池蓋、ネックストラップ、ドライバー、お試用電池 (CR2032×1個)	

*使用する高さは90cm(腰)~180cm(ヘルメット)の範囲で設計しています。それ以外の範囲ではWBGTの誤差が大きくなる可能性があります。
*ヘルメットへの取り付けには、ヘルメット用ペンホルダー(別売)が必要となります。

※製品改良のために予告なしに仕様等を変更する場合があります。予めご了承ください。安心して暮らせる豊かな街づくりを目指して...

無断複写・転載禁止

サンコーテクノ株式会社

本社 〒270-0163 千葉県流山市南流山三丁目10番地16

OFFICE	TEL	FAX	OFFICE	TEL	FAX
本社	04-7157-8181	04-7157-8787	静岡営業所	054-237-0102	054-237-2917
大阪支社	072-960-7735	072-960-7737	金沢営業所	076-240-3535	076-240-7286
札幌支店	011-876-9035	011-872-6900	岡山営業所	086-296-8031	086-296-8130
仙台支店	022-236-2533	022-236-2537	広島支店	082-275-5091	082-941-0581
名古屋支店	052-355-3501	052-355-3502	高松営業所	087-885-7431	087-885-7430
福岡支店	092-587-0188	092-504-7300	鹿児島営業所	099-225-8311	099-225-8328
新潟営業所	0256-47-1135	0256-61-2777	機能材本部	04-7155-6300	04-7155-6322
横浜営業所	045-340-3517	045-334-0071			

お客様相談窓口 TEL ☎ 0120-350-514 受付時間 祝日を除く月曜日~金曜日 9:00~12:00/13:00~17:00 (フリーダイヤル) FAX ☎ 0120-350-571

サンコーテクノホームページ <https://sanko-techno.co.jp/>

SN240403C